

## 2020年度（令和2年度）障害者の社会参加をすすめる会 事業報告

### 【概観】

2020年度は、まず、「障害者の社会参加をすすめる会」の法人格取得を第一と考え、先を見据えた運営につなげるべく活動しました。これは、「一般社団法人」としての法人格を取得したことにより、達成されたといえるでしょう。これにより、グループホームの設立など、法人格を取得していないと達成しえなかった組織編成が可能になりました。今後はより具体的な目標を立て、皆が主体的に暮らせるための基盤づくりが本格化していきます。

一方で、コロナ禍に端を発した工賃収入の低下やイベントの中止など、今までにない閉塞感・不満足も感じられました。それでも夢燈館では毎日のように笑顔が見られたことは大きな収穫であり、皆さんの努力と協力のおかげであるといえるでしょう。

### 【新型コロナウイルス感染症への対応】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、4月には初めての「緊急事態宣言」が発令されました。その後も感染が収まらない中で、各施設では感染症対策としての備品の購入、助成金の利用等の対応を行いました。

#### ・各施設の対応

サービス提供の維持に努めながら、「緊急事態宣言中」は通所のための公共交通機関の利用を制限し、1日の利用人数の調整を行いました。また、より徹底した施設内の消毒、換気、体調管理に努めました。

就労センター夢燈館…居室用換気扇の取り付け、空気清浄機（室内用・車用）の購入

プラザ夢燈館…サーキュレーター、空気清浄機（室内用・車用）の購入、使い捨てタオルの設置

#### ・助成金の利用

○衛生管理体制確保支援事業（さいたま市）…体温計、ハンドソープ、サーキュレーター、消毒液等を購入。また、さいたま市からマスク、消毒液等が配布されました。

○新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金（埼玉県）…5名に慰労金が支給されました。

○両立支援助成金（厚生労働省）

### 【地域活動支援センター事業】

#### ・中・長期目標の設定

グループホーム設立に関する面談や計画の策定には至りませんでした。

次年度に引き続き取り組む必要があります。

- ・キッチン・トイレの改修

衛生面や換気に関する助成をうけ部分的な改修にとどまっています。

#### ○春・秋の旅行

秋の旅行は、潮風館 9/7～9/9 の 2泊 3日で行った。

中日は現地の介護タクシー業者を依頼し、小グループに分かれて観光を楽しんだ。

#### 【ビーポップとの共同事業】

- ・DD・勉強会・海外旅行

コロナ禍の影響によりビーポップとの共同事業はほぼすべてが中止/延期となっている。

出来るだけ早い再開が望まれる。

#### 【対外活動】

- ・社会福祉士相談援助実習

2020年度も、十文字学園女子大学から実習生の受け入れを行った。

- ・県庁内福祉の店「アンテナショップかつぼ」の活動への参加

売り上げが伸びず苦しい運営状況であるが、店番や会議を始め積極的に運営協力をしました。

#### 【広報】

- ・会報・WEBサイト

残念ながら広報や求人について積極的な情報発信には至りませんでした。

継続して情報発信できる人材やシステムづくりが課題であると考えられます。

#### 【福利厚生】

健康診断及び検診を職員四名・利用者一名おこないました。

#### 【人材育成】

職員・スタッフの人材形成として研修会への参加の実績は、下記の通りである。

1月30日	「テレワーク WEB セミナー」	
3月9日～22日	「福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策」	4名
	「摂食・嚥下研修会」	(さいたま市主催) 4名
3月21日	「発達障害に関する講演会」	(さいたま市主催) 1名